

主要イベント概要

(1) オープニングセレモニー

日程 4月11日(水) 9:30~9:50

場所：東京ビッグサイト 会議棟 6階 605~608 会議室

SEA JAPAN 2018 の初日に、主要関係者出席の下、オープニングセレモニーが行われました。当省の大坪海事局次長が開会挨拶を述べた後、安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが紹介され、「SEA JAPAN 2018 が、我が国がこれまで培ってきた匠の技や先端技術を、力強くアピールする機会になることを期待する」と日本の海事産業の一層の飛躍への期待感が示されました。



国土交通省 大坪海事局次長
による開会挨拶



来賓によるテープカット

(2) 国際海事セミナー (プログラムは別紙2参照)

日程：平成30年4月11日(水) 10:00~12:30

場所：東京ビッグサイト 会議棟 6階 605-608 会議室

共催：国土交通省、SEA JAPAN 2018 海事クラスター企画委員会

同セミナーは2部構成とし、基調講演とパネルディスカッションを実施しました。

第1部の基調講演では「Green Innovation and Digitalization」をテーマに、まず日本財団 海野常務理事より、海事産業のイノベーション創出に向けた新たな取り組みとして海洋開発と無人船が提案されました。続いて、ノルウェーのシモンセン貿易産業副大臣からは「Our green path to the blue growth」と題して、グリーンテクノロジーの世界展開等海洋立国ならではの成長戦略が述べられました。

第2部の「東南アジア海事サミット」では、(一財)日本舶用品検定協会 坂下顧問をモデレーターに、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、及びタイの東南アジア各国船主協会会長を招いてのパネルディスカッションを行い、老朽船を環境に優しく効率的な船舶に代替していくための日本と東南アジアとの協力等について議論が交わされました。



日本財団
海野常務理事



ノルウェー
シモンセン貿易産業副大臣



東南アジア海事サミット
(パネルディスカッション)の様子

(3) ジャパンパビリオンテーマゾーン

日時：4月11日(水)～13日(金) 10:00～17:00

場所：東京ビッグサイト 東5・6ホール

展示会場中央に「ジャパンパビリオンテーマゾーン」を開設し、我が国海事クラスターが連携し、海洋環境技術、海洋資源開発技術等の先進技術を紹介しました。

展示では、IoTに関するテーマゾーンでは海事生産性革命（i-shipping）や関連の技術開発についての紹介や産官学による研究の紹介等、実機、模型を多く展示することにより最新の技術を分かりやすく発信しました。



ジャパンパビリオン
テーマゾーンの様子



ジャパンパビリオン
IoTテーマゾーンの様子

(4) 船舶海洋技術セミナー（プログラムは別紙3参照）

日程：平成30年4月13日(金) 10:30～16:30

場所：東京ビッグサイト展示会場内 セミナー会場C

共催：国土交通省、(一財)日本海事協会、(一社)日本船用工業会

我が国造船・船用企業の先進的な技術開発・取組を各企業のプロジェクト実施者等より紹介しました。のべ640名(速報値)が参加し、我が国の技術に対し高い関心が寄せられました。

同セミナーでは、海事産業界におけるデジタルイゼーションに関連し、船舶に対するモニタリング、工場内における情報共有基盤の開発、イノベーションの活用、船舶上でのプラットフォーム構築などとともにデータ活用を推進する国際標準化、教育におけるIoTの導入等、様々な視点からの講演が行われました。



船舶海洋技術セミナーの様子



海事政策（海事生産性革命）の紹介